

338項目の来年度予算要望を提出!



石井市長 (写真左) に要望書を
手渡す庄本団長 (写真右)

8月26日、西宮市長に対し「2025年度西宮市当初予算編成に対する申し入れ書」(日本共産党西宮芦屋地区委員会、同西宮市会議員団)を提出しました。

11局全局と選挙管理委員会、中央病院に対する全338項目にわたる要望で、出席した上田地区委員長、庄本団長のあいさつ、石井市長のあいさつに続いて、議員団3人からそれぞれ新規・重点項目について説明し、若干の意見交換をしました。

なお、提出した要望については、全項目にわたり来年2月頃に文書で回答があります。

庄本団長からは大きく2点、あいさつで触れました。

一つは、今市が進めている「財政構造改善」についてです。「財政が厳しい」とことさら強調することは、市民の暮らしの願い実現を遠ざけることになる、自治体の役割である「住民の福祉の増進」を忘れてはならないと強調。

二点目は、これも市が進めている各種の民間活力導入は様々なほころびが出てきている。「公共」の復活をという声も広がり始めていると指摘しました。

石井市長は、「変化が大きな時代になっており、行政としても柔軟に対応していく必要がある。市民や議会、職員の納得のいく行政を進めていきたい」とあいさつ。

議員団が一通り説明したのち、岩崎副市長から「今年度は、各部局に対し新規施策については原則認めないと徹底している。福祉分野はいったん開始すると西宮市の場合はやめることができていない。他市はスクラップ

アンドビルドができてい」などと冷たい発言。

党議員団は9月議会の2023年度決算審査、来年3月議会の2025年度予算審査においてこの要望実現に向けて論戦に挑みます。



意見交換する、奥左から、藤岡教育長、北田副市長、石井市長、岩崎副市長、青山下水道事業管理者。手前は党議員団と地区委員長

市内施工業者による

住宅リフォーム助成2次募集 9/6まで



市内施工業者を利用して、住宅の修繕・補修工事などを行う方に、助成対象工事費の10%(限度額10万円)を助成する制度の2次募集(工

事日程が10月1日以降の工事、50人程度。多数の場合は抽選)の申し込み締め切りが9月6日(金)に迫っています。

この制度は党議員団と市民の皆さんの粘り強い取り組みで実現し、好評のため予算も増額されて年に2回募集し、実施されています。

詳しくは、市のホームページをご確認いただくか、

商工課(0798・35・3641)にお問い合わせください。

●対象者 …市内に住宅を保有している、市内に住民登録があり、対象住宅に居住している、市税の滞納がない、過去に同助成を受けたことがない、のすべてを満たす方

●対象工事 …次のすべてを満たす工事▷住宅の機能維持・向上のための改修▷費用が40万円以上▷申請手続き完了後に着工し、工事完了・費用の支払い・市への実績報告のすべてを来年3月31日にまでにできること

